

令和6事業年度

公益財団法人周南市ふるさと振興財団 事業報告

【 ふるさと振興財団のビジョンとミッション 】

vision

ふるさと振興財団が目指すべき社会像

地域の今とこれからのために、
みんなで手を取り合って暮らすことができる
“ふるさと周南”へ

mission

ふるさと振興財団が果たすべき役割

私たちは、
地域の未来に向けた活動を“支える”こと、
人と団体と地域を“つなぐ”こと、
ふるさと周南について“伝える”ことで、
みんなが育ち支えあう、
ふるさとづくり活動に取り組みます。

【 令和6事業年度について 】

周南市ふるさと振興財団は、「市民自らが行う地域づくり活動の振興」を目的に、平成4年8月に設立された「ふるさと振興を使命とする財団」である。

令和6事業年度は、「ふるさとづくり推進プランIV」の四年目にあたる年となり、中間年に見直した内容を踏まえながら、堅実に事業を進めた1年となった。

「支える～地域運営を行う組織の基盤づくり～」においては、各地区コミュニティ推進組織の相談対応・訪問調査、コミュニティ活動・市民活動への助成、活動のPR、地域の夢プラン実行支援、しゅうなん地域マーケットの開催等の事業を展開した。

「つなぐ～市民活動参加と協働への基盤づくり～」では、市民活動支援センター事業として、市民活動団体のみなさんの取組を知ってもらうことを目的に、夏休みサマースクールや、しゅうなん地域マーケットでの活動紹介ブース設置などを企画した。また、周南市の将来を担う子どもたちの健全育成、中山間地域との連携のため、引き続き指定管理者として周南市大田原自然の家の管理運営を行った。

「伝える～ふるさとづくり情報を知る機会づくり～」では、これまで別々に発行していた地域活動と市民活動の情報誌を統合し、新たにコネクトとして創刊を行った。報道機関への毎月2回のプレスリリース発行や、市民活動団体へのメールマガジンによる助成金・イベント情報等の提供も引き続き行い、SNSによる情報発信の強化にも努めた。

I 支える～地域運営を行う組織の基盤づくり～

地域の未来に向けたコミュニティ活動／市民活動を充実していくには、地域運営を行う組織の基盤づくりが必要である。それを「支える」ための事業として、活動のコーディネートや人材育成、活動への助成を行う。

1. コミュニティ活動／市民活動のコーディネート事業

決算額 2,057,372 円

【事業目的】

地域の情報収集や相談対応等で各地区のコミュニティ活動及び市民活動の充実を図っていく。

【事業内容】

■ 個別相談・訪問調査

■ 相談や取材などによる訪問及び対応

| 延べ 206 件

- ・相談(コミュニティのみ)や訪問：106 件
- ・事業や取り組みの取材：63 件
- ・夢プラン関係：37 件



■ 相談内容

- ・勝間：地域での Canva 講座開催依頼
- ・周陽 他：キッチンカーの誘致について
- ・須金 他：助成金の活用について



■ 取材内容

| 総会出席 27 地区 (総会未訪問 4 地区)

| 地域行事等の取材 63 件

- ・周陽地区：周陽秋まつり
- ・勝間地区：かつまよいち
- ・湯野、戸田、夜市地区：西部 3 地区ラジオ体操
- ・中須地区：中須ふれあいフェスタ など



■ 周南市コミュニティ推進連絡協議会の支援

- 正副会長会議 [第1回：4/19(金)、第2回：3/5(水)]
- 監査 [4/23(火)]
- 役員会 [第1回：5/9(木)、第2回：9/17(火)]
- 総会及び三団体合同懇親会 [6/27(木)]
- 市長へ補助金増額要望 [10/4(金)]
- モルック交流大会 [10/26(土)]
- 交流集会 [11/30(土)]
- 三団体合同交流会 [12/17(火)]
- 若者参画事業 [2/1(土)]
- 三団体合同視察研修(広島市立大学) [2/8(土)]
- 事務局担当者研修(決算書作成研修) [3/12(水)]
- 西部ブロック交流会 [第1回：7/12(金)、第2回：2/25(火)]
- イベント器材の貸出 300 件
(港町庁舎・ゆめプラザ熊毛・鶴いこいの里交流センターの合計件数)



■ 地域資源を活用した活動への支援

- しゅうなん地域マーケットの開催
 - しゅうなん地域マーケット“春” [5/25(土)]
 - しゅうなん地域マーケット“夏” [8/18(日)]
 - しゅうなん地域マーケット“秋” [11/23(土・祝)]
 - しゅうなん地域マーケット“歳末” [12/28(土)]
 - しゅうなん地域マーケット“冬” [2/16(日)]
 - ・会場：徳山駅北口駅前広場周辺
 - ・出店者数：春 45 店舗、夏 30 店舗、秋 46 店舗、歳末 30 店舗
冬 41 店舗 (延べ出店数 192 店舗)
 - ・来場者数：各回約 1,500～3,500 人(延べ人数 12,500 人)
- ※「こどもっちゃん！商店街」などのイベントとも連携



■ 地域カルテ・団体カルテの作成

- 地域カルテの作成 作成地区数：31 地区
 - ・ホームページで公開



■ 地域の夢プラン策定・実行支援

- 策定支援 対象地区なし
- 実行支援 菊川・徳山小学校区・岐山・大河内



■ ふるさと応援隊の支援

- イベント支援 5件実施
 - ・大道理地区ホタル鑑賞の夕べ [6/8(土)]
 - ・桜木地区ふれあい夏祭り [7/27(土)]
 - ・鼓南地区ふれあい夏まつり [8/3(土)]
 - ・須金なしふどう祭 [8/24 (土)]
 - ・鼓南地区ふれあい文化祭 [11/3(日・祝)]



- 監査 4/18(木)

- 総会 5/8(水)

- 定例会 7回実施 6/19(水)、7/17(水)、9/18(水)、10/16(水)、12/18(水)、1/15(水)、3/26(水)



2. 人材育成・団体力強化事業

決算額 449,498 円

【事業目的】

地域課題の発掘やその解決に向けた活動を推進していく力を持った人材を育成するとともに、団体運営に必要となる基本的な知識・ノウハウを学び、活用できる人材を増やす。

【事業内容】

■ 中長期的な人材育成講座の実施

- 第1回地域づくり職員スキルアップ研修
 - ・講師：長浜洋二氏(モジョコンサルティング合同会社)
 - ・テーマ：「地域づくりと主事の役割」
 - ・日時：6/28(金) 会場：シビック交流センター
 - ・参加者数：16名



■ 第2回地域づくり職員スキルアップ研修

- 第2回地域づくり職員スキルアップ研修
 - ・講師：國兼裕司(公益財団法人周南市ふるさと振興財団)
 - ・テーマ：「“何のために”を考える企画書のつくり方」
 - ・日時：7/12(金) 会場：文化会館
 - ・参加者数：24名



■ 第3回地域づくり職員スキルアップ研修

- ・講師：株式会社ふじたプリント社より2名
- ・テーマ：「プロから優しく学ぶ！魅力あるチラシ作り講座」
- ・日時：9/3(火) 会場：学び・交流プラザ
- ・参加者数：38名



■ 第4回地域づくり職員スキルアップ研修

- ・講師：和泉宏氏(一般社団法人 motibase)
- ・テーマ：「伝える！伝わる！研修会
～ワンランク上の伝え方を身につける第一歩～」
- ・日時：2/20(木) 会場：文化会館
- ・参加者数：24名



■ 個人や団体のスキルアップにつながる講座の開催

■ 無料ツールでデザイン力 UP! Canva 講座(第1回)

- ・講師：藤澤佐和子氏(株式会社まちあい徳山)
- ・日時：5/17(金)、5/31(金) 会場：徳山港町庁舎会議室
- ・参加者数：8名(5/17)、5名(5/31)



■ 助成金説明会・相談会

- ・講師：森永小波氏(公益財団法人山口きらめき財団)
國兼裕司(公益財団法人周南市ふるさと振興財団)
- ・日時：1/23(木) 会場：徳山港町庁舎会議室
- ・参加者数：8名



■ 熊毛ブロック地域づくり講演会(共催事業・熊毛ブロック主事会主催)

- ##### 「地域密着のお店 熊毛トーネーク」
- ・講師：タベルナタベタ？、NANAIROKITCHEN、
オリゴのめぐみ工房フローラ
 - ・日時：2/22(土) 会場：ゆめプラザ熊毛
 - ・参加者数：24名



■ 無料ツールでデザイン力 UP! Canva 講座(第2回)

- ・講師：藤澤佐和子氏(株式会社まちあい徳山)
- ・日時：2/28(金)、3/7(金) 会場：徳山港町庁舎会議室
- ・参加者数：12名(2/28)、11名(3/7)



■ 中央ブロック地域づくり講演会（共催事業・中央ブロック主事会主催）

「地域と学校のふれあいを学ぶ！」

- ・講師：中村省吾氏(周南市立三丘小学校教諭)
- ・日時：3/15(土) 会場：文化会館
- ・参加者数：34名



■ Canva 出張講座@勝間市民センター

- ・講師：藤田夏帆 他4名(公益財団法人周南市ふるさと振興財団)
- ・日時：3/13(木) 会場：勝間市民センター
- ・参加者数：8名



■ 若者参画の推進・後継者育成支援

■ 若者参画事業 ※周南市コミュニティ推進連絡協議会事業と併催

- ・日時：2/1(土)
- ・参加者数：28名
- ・会場：市内飲食店
- ・50代前半までと年齢制限を設けた交流会



■ 課題解決への取り組みに関する先進事例調査

- 随時、インターネットなどで調査

3. コミュニティ活動／市民活動への助成事業

決算額 583,049円

【事業目的】

事業の規模に関わらず、課題解決に向けてプラン策定を行い、その事業を実施しようとしている団体に対し、プランの作成及び必要な資金を支援する。

【事業内容】

■ 特色あるコミュニティ活動支援事業

■ 活用地区 1地区 ※()内は助成事業名

- 基本コース：上限10万円
 - ・勝間（勝間コミュニティのシンボルマークコンテスト実施事業）

100,000円



- おいそぎコース：上限5万円

- ・申請無し

■ しゅうなん元気活動支援事業

■ 活用団体 4団体 ※()内は助成事業名

- ・こどもデジクラ夏まつり実行委員会 (こどもデジクラ夏まつり)
- ・3rd place COCO

(不登校親子の為のコミュニティ作り及びリーフレット制作事業)

- ・岐山ドローンクラブ

(「岐山地区ドローンのまちづくり計画」の基礎となる人材発掘事業)

各 100,000 円



- ・D&I 学び月間実行委員会

(今村彩子監督の映画『珈琲とエンピツ』の上映会＆講演会)

92,000 円



■ 伴走支援型助成プログラム

- ・制度の検討

■ その他助成制度による資金獲得の支援

- ・助成制度の紹介 (実際に申請及び採択に繋がったものはなし)



II つなぐ～市民活動参加と協働への基盤づくり～

ふるさとづくり活動は、団体と団体、人と人が手を取り合って進めていくことが重要であり、それらを「つなぐ」ための事業として、各地域での取り組みをより効果的なものにするための基盤となる団体間のネットワークの強化や、さまざまな組織の協働の推進、活動参加への入り口としての寄付やボランティアの促進、子どもや青少年の健全育成の支援を行う。

1. ネットワーク形成・協働推進事業

決算額 5,847,626 円

【事業目的】

ふるさとづくり活動に取り組む団体間が信頼・協力関係を築き、単独の団体では困難な地域課題を解決していくための基盤となる協働推進への取り組みを支援する。

【事業内容】

■ 市民活動フェスタの開催

■ グループバンク登録団体紹介ブースの実施

| 5/25(土) 参加団体：NPO 法人ケダマの会

| 8/18(日) 参加団体：NPO 法人しゅうなんまちなか保健室



- 11/23(土・祝) 参加団体：周南ちるちあネット
- 12/28(土) 参加団体：熊毛なんでも俱楽部
 - ・しゅうなん地域マーケットと併せて実施
 - ・会場：5/25 徳山駅北口駅前広場周辺
 - 8/18、11/23、12/28 徳山駅前賑わい交流施設 2階
 - インフォメーションスペース



- 知る！つながる！市民活動フェスタミニの実施
 - ・2/16(日) しゅうなん地域マーケット“冬”と同日開催
 - ・会場：徳山駅前賑わい交流施設 2階インフォメーションスペース
 - ・参加団体：NPO 法人ケダマの会、周南ちるちあネット
 - 熊毛なんでも俱楽部



■ 市民活動支援センターの運営

- 年間利用人数 1,153 人／年間利用件数 591 件
- 市民活動に関する相談対応 59 件
- 周南市市民活動グループバンクの登録・更新に関する事務
 - ・登録団体数（6 年度末） 276 団体
 - ・年 1 回、全登録団体を対象に登録内容の確認と情報の更新、市民活動に関するアンケート調査を実施。



■ 夏休みサマースクールの実施

- ガンガン行こうぜ！しゅうなんクエスト
 - ・7/27(土) ・会場：徳山駅周辺の徳山八十八ヶ所
 - ・講師：山口狛犬楽会 ・参加者数：13 名
- マイ♡小物入れをつくろう！
 - ・8/5(月) ・会場：しゅうなん市民活動支援センター
 - ・講師：周南消費者協会 ・参加者数：13 名
- 和田モルックであそぼう！
 - ・8/8(木) ・会場：しゅうなん市民活動支援センター
 - ・講師：和田の里づくり推進協議会 ・参加者数：9 名



けん玉であそぼー！

- ・8/24(土) ・会場：しゅうなん市民活動支援センター
- ・講師：周南けん玉教室 ・参加者数：6名



作ってみよう！3種類の紙ヒコーキ

- ・8/31(土) ・会場：しゅうなん市民活動支援センター
- ・講師：周南少年少女発明クラブ
(NPO 法人山口県アクティブシニア協会)

・参加者数：11名

周南きさらぎ文化祭（主催：徳山駅前図書館）協力事業の実施

市民活動パネル展

- ・2/15(土)～3/16(日) ・参加団体数 32団体
- ・場所：徳山駅南北自由通路（みなと口側）



イベント器材の貸し出し 年間利用件数：44件

2. 寄付とボランティアへの参加促進事業

決算額 0円

【事業目的】

ふるさとづくりなど社会貢献活動への代表的な参加方法である「寄付」と「ボランティア」への理解を広げ、地域への参加の輪を広げる。

【事業内容】

他団体事業への協力

- きららでキラリ！県民活動促進事業（やまぐち県民活動促進実行委員会主催）
 - ・市民活動団体への参加よびかけ、参加説明会（7/20）のサテライト会場運営（オンライン）
- ボランティアコーディネーション力3級検定（共催事業／認定 NPO 法人日本ボランティアコーディネーター協会主催）
 - ・市民活動団体への参加よびかけ、第41回主催検定（12/7）の検定試験会場としての運営協力
- いわくに市民活動カフェ促進事業（岩国市・市民活動カフェ実行委員会主催）
 - ・事業視察、当日（1/26）の運営補助

3. 自然体験を通じた子どもたちへの健全育成の支援事業

決算額 38,188,511円

【事業目的】

自然や人とのふれあいを通して、これからふるさとを担う子どもたちや青年の健全な育成を推進する。

【事業内容】

■ 大田原自然の家の管理運営

- 年間利用人数 延べ 8,894 人
- 魅力ある主催事業の実施
 - ・春のわんぱく村・大地を耕し作物をつくる家族のつどいなど 60 回



■ 自然や人とふれあえる体験活動の提供

- 特色ある体験活動プログラムの提供
 - ・ピザ作り・ネイチャークラフト・カヌーなど 40 プログラム



■ 活動を通した青少年ボランティアの学びの場づくり

- 青少年ボランティアを育成する研修会の実施
 - ・キャンプ指導者研修会・ステップアップキャンプ
 - ・主催事業事前研修・AFPY 研修会など 42 回



III 伝える ～ふるさとづくり情報を探る機会づくり～

ふるさとづくり活動への参加の輪を広げていくためには、より多くの人に「ふるさと」に関する幅広い情報に触れてもらうことにより、はじめの一歩へと背中を押すことが重要である。ふるさと周南について「伝える」ための事業として、インターネットや紙媒体などを通じて情報発信を行う。

1. ふるさとづくりに関わる情報発信事業

決算額 431,839円

【事業目的】

様々な媒体を活用し、市内のコミュニティ活動／市民活動や財団の事業に関する情報に加え、地域の魅力を伝える情報を発信することで、周南市におけるふるさとづくり活動の周知・PR 等を図り、活動への参加につなげる。

【事業内容】

■ Web 媒体による情報発信

- 財団 HP・しゅうなん地域づくり応援サイト（コミュニティ HP・市民活動 HP）・大田原自然の家 HP
- Facebook（財団・大田原）
Instagram（財団・市民活動支援センター）
LINE 公式アカウント（市民活動支援センター）
- メールマガジン（市民活動支援センター）



■ 紙媒体による情報発信

- 地域活動・市民活動情報誌「コネクト」（年4回 各2,100部）
- 「情報ひろば」（毎月発行 各660部）
- 「おおたばら」（11,000部）
- 大田原自然の家主催事業チラシ（年4回 各7,000部） など



■ 各種メディアを通じた情報発信

- 報道機関への定期プレスリリースの発信
 - ・地域の情報をまとめたものを毎月10日、25日の2回発信

■ ふるさとづくり情報の収集とアーカイブ化

- 随時、ネット・メディアなどで情報収集

■ 助成金情報の収集と提供

- 市民活動支援センターで補助金・助成金の情報収集と整理、センター内の掲示、募集要項やチラシの掲示・配布、ファイル設置、登録団体へのメールマガジンにより情報提供



■ 運営施設や関係機関への掲示や設置による情報発信

- 市民活動支援センター
 - ・市民活動団体が実施するイベント、団体の会員募集、各地区コミュニティ推進組織の広報誌、県内の支援センターの情報誌など
- 財団事務所及び周南市役所1階
 - ・各地区コミュニティ推進組織の広報誌・イベント情報 など



IV 庶務事項

1. 組織

(1) 理事

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
藤井律子	令和6年 6月 13日		理事長
内山浩昭	〃		副理事長
厚東和彦	〃		
小林高志	〃		
船崎美智子	〃		
渡辺明彦	〃		
佐藤貴志	〃		
神本康雅	〃		
佐伯信治	〃	令和7年 3月 31日	常務理事
宗貞洋治	令和4年 6月 9日	令和6年 5月 28日	
磯部保夫	〃	令和6年 6月 13日	

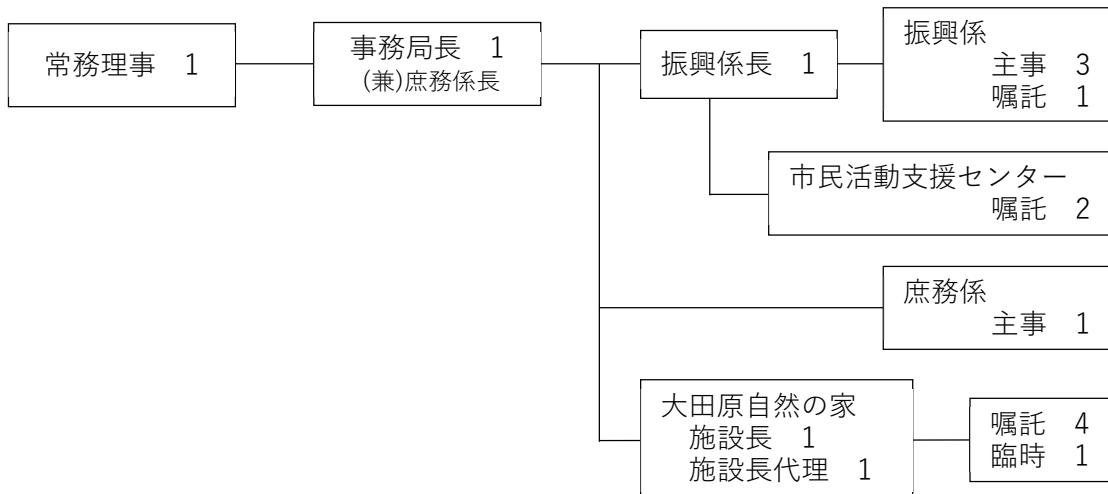
(2) 監事

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
西田了	令和6年 6月 13日		
三牧簇	〃		
有馬孝志	令和4年 6月 9日	令和6年 6月 13日	

(3) 評議員

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
田村隆嘉	令和6年 6月 13日		
福原和子	〃		
飯田圭子	〃		
片山研治	〃		
磯村泰將	〃		
野村正純	〃		
赤木真由	〃		
吉本龍太郎	〃		
秋貞啓子	令和6年 6月 18日		
渡辺隆	令和2年 6月 28日	令和6年 6月 13日	

(4) 事業推進体制



(令和 7 年 3 月 31 日現在)

2. 会議の開催

(1) 理事会

回	開催年月日・会場	議案
1	令和 6 年 5 月 28 日 周南市文化会館	① 令和 5 事業年度事業報告及び計算書類の承認について ② 令和 6 事業年度補正予算について ③ 嘱託、臨時及びパート職員就業規則の一部を改正する規則の制定について ④ 育児休業、育児短時間勤務に関する規程の全部改正について ⑤ 公益通報者保護に関する規程の一部を改正する規程の制定について ⑥ 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について ⑦ 評議員会に提出する理事及び監事候補者名簿の承認について
2	令和 6 年 6 月 25 日 決議の省略	① 代表理事（理事長）、副理事長及び業務執行理事（常務理事）の選任について
3	令和 7 年 3 月 7 日 周南市シビック交流センター	① 給与規程の一部を改正する規程の制定について ② 給与規程細則の一部を改正する細則の制定について ③ 初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部を改正する規程の制定について ④ 嘱託、臨時及びパート職員就業規則の一部を改正する規則の制定について ⑤ 会計規程細則の一部を改正する細則の制定について ⑥ 令和 7 事業年度事業計画及び収支予算等の承認について ⑦ 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について ⑧ 評議員会に提出する理事候補者名簿の承認について
4	令和 7 年 3 月 29 日 決議の省略	① 業務執行理事（常務理事）の選任について

(2) 評議員会

回	開催年月日・会場	議案
1	令和6年 6月13日 周南市文化会館	① 令和5事業年度事業報告及び計算書類の承認について ② 令和6事業年度補正予算について ③ 評議員の選任について ④ 役員の選任について
2	令和7年 3月17日 周南市文化会館	① 令和7事業年度事業計画及び収支予算等の承認について ② 役員の選任について

3. 登記及び届出

(1) 登記

登記年月日	登記事項	申請先
令和6年 4月 4日	評議員の変更	山口地方法務局
令和6年 6月 20日	理事の変更	
令和6年 8月 9日	評議員、理事及び監事の変更	

(2) 行政庁への届け出、申請

年月日	届け出・申請事項
令和6年 4月 4日	変更の届出 (理事、監事及び評議員に対する報酬の支給基準の変更)
令和6年 4月 22日	変更の届出 (評議員の変更)
令和6年 6月 28日	事業報告等の提出
令和6年 7月 3日	変更の届出 (理事の変更)
令和6年 8月 23日	変更の届出 (理事、監事及び評議員の変更)
令和7年 3月 31日	事業計画書等の提出

4. コンプライアンス委員会

(1) コンプライアンス委員

役職	氏名	備考
委員長	船崎 美智子	コンプライアンス担当理事
委員	伊藤 一統	学識経験者
委員	合田 賢治	税理士
委員	守田 文美	弁護士

(2) コンプライアンス委員会の開催

回	開催年月日・会場	議 事
1	令和 6 年 12 月 23 日 周南市シビック交流センター	① コンプライアンス委員会発足の経緯について ② 再発防止策の実施状況について ③ コンプライアンス研修について
2	令和 7 年 3 月 14 日 周南市シビック交流センター	① 再発防止策の実施状況について ② コンプライアンス研修について

附属明細書

令和 4 事業年度に発覚した財団の元職員が周南市コミュニティ推進連絡協議会（以下、「協議会」という。）及びふるさと応援隊資金を私的流用していた業務上横領事件について、令和 6 事業年度は再発防止策を下記のとおり実施した。

1. 会計処理及び財産管理に関する再発防止策

(1) 業務体制の見直し

- ① 協議会の会計処理に関する基準となる会計規程の案を財団事務局において作成し、令和 6 年 5 月 9 日に実施された協議会の役員会において承認された。
- ② 協議会と財団の間で、協議会の経理事務等の委託に関する委託契約を令和 6 年 5 月 9 日付けて締結した。

(2) チェック機能の整備

- ① 協議会の会計事務を処理するため、上記の規程及び委託契約に基づき財団事務局に会計責任者と出納担当者を置いた。会計責任者は財団事務局長、出納担当者は振興係職員が担当。
- ② 金銭の出納については、出納担当者が証憑に基づいて伝票を作成し、会計責任者の他に財団の会計・経理を担当する庶務係職員の確認を受けたのち、協議会会長（以下、「会長」という。）の決裁を受ける体制とした。
- ③ 出納担当者は、毎月末日の現金及び預金の残高を会計帳簿と照合・報告し、会計責任者、常務理事及び財団庶務係職員が確認を行う体制とした。
- ④ 会計帳簿として、総勘定元帳、現金出納帳、預金出納帳を出納担当者が作成、会計責任者及び財団の庶務係担当職員が確認する体制とした。
- ⑤ 協議会の通帳は、鍵付きの手提げ金庫に収納し鍵は常務理事が管理、協議会の公印は通帳とは別の手提げ金庫に収納し鍵は事務局長が管理する体制とした。
- ⑥ 会計責任者は、毎月末に会計記録を整理し、事務局内で確認、常務理事の決裁を受けたのち、会長に報告し、その承認を受ける体制とした。
- ⑦ 協議会監査の適切な実施を確保するため、令和 6 年 4 月 23 日に実施された令和 5 年度決算に関する監査より、事務局が作成した監査チェック項目のリストを用い、協議会監事によ

る監査の進行を支援した。

(3) 組織的な問題への対応

- ① 新入職員 3 名を対象に会計の初步に関する内部研修を実施（計 2 回）。
- ② 個人面談の対象を嘱託職員及び臨時職員を含めた全職員に拡大して実施（事務局長が担当）。
- ③ 業務上データのクラウド上での共有、電子メールの Cc による共有など職員間の情報共有を推進した。
- ④ 組織内の人間関係形成に関するワークショップを事務局、指定管理施設にて各 1 回実施した。

2. 公益認定に関する事項について

山口県公益認定等審議会の求めに応じて令和 6 年 5 月 10 日付け、同 8 月 13 日付け、10 月 11 日付けにて報告書を提出した。

令和 6 年度のコンプライアンス委員会の開催状況及び再発防止策等の取組状況、及び令和 7 年度以降の当面 3 年間の取組状況について、各年度の終了後 1 か月後までに報告書を提出することとなった。